

ボツワナ通信 NO,6

表彰式

年末になり、ボツワナのあちらこちらで **Prize-giving** という一年間の頑張りを表彰する表彰式が行われています。この式典では、勉強において優秀な成績を収めた生徒を中心に様々な分野で表彰が行われ、呼び出された生徒と保護者が前に出て賞状を校長先生から授与されます。私の指導している1つの学校のこの式典に招待していただき、柔道の日頃の活動を表彰していただきました。子供達も大変喜んでおり、これからの活動への励みになったのではないかと思います。

私が学校に行く時間は、1日においてたったの2時間ですが、学校の理解が無ければ行う事の出来ない活動ですので、学校側との信頼関係もしっかりと築いていきたいです。



Judo for Peace Tournament

11月28日から12月2日までザンビア共和国において国際柔道連盟主催で **Judo for Peace Tournament** が行われ、ボツワナナショナルチームのヘッドコーチとして引率しました。ザンビア、ボツワナ、ジンバブエ、南アフリカ、マラウイ、スワジランドの6ヶ国が参加しました。

今大会は、名前の通り、柔道を通じての仲間作り、平和への貢献が主目的でありました。開会式後に、国籍関係無く、混合で6人のチームが編成され、それぞれのチームに各国のコーチが適当にチームに割り当てられ、団体戦方式で試合は行われました。最初は、互いに初対面のため、ぎこちない自己紹介から始まり、次第に一人一人が打ち解けていき、試合をしていくにつれてチーム内での絆が深まっていき、チーム一丸となって戦う様子は、柔道が世界平和へ大きな影響力を持つことを物語っている素晴らしい光景でした。

ボツワナチームでは、試合前のミーティングで、今回の試合においては、良い結果は求めているという事を伝えました。選手達は、期待に応えて新しい技を試し、積極的に攻める堂々とし



た良い内容の試合をしてくれました。

また、同僚のボツワナ人コーチのチームは見事に準優勝を飾り、私のチームも3位入賞を果たし、結果も残すというおまけ付きで大会を終えることができました。

試合後に連盟会長から「選手は、この半年でかなり成長した。強くなった。」という有難いお言葉をいただきました。今大会を終えて、選手一人一人の課題が明らかになり、選手の長期休暇期間(2月中旬まで)を使っての強化に向けて大変有意義な遠征になりました。

3月にチュニジアで行われるアフリカ選手権、5月にボツワナにて行われるアフリカユースオリンピックに向けて、今後も心技体の強化を行っていきたいと思います。



連盟のワークショップ

週末の金土日を使い連盟の今後の方針を話し合う会議が首都ハボロネから約200Km離れた所にあるマハラペにて行われました。連盟に携わる約20名の関係者と3人の体育省関係者が一同に集まりました。なぜわざわざバスを貸し切って地方都市に行き、高級ホテルに泊まって2泊3日で会議を行うかという理由は、時間を気にせず進められる事と人々が時間に遅れずに集まるというのが理由だそ



うです。会議中は、積極的に自分の意見を発言し、納得いくまで話し合う姿勢が相見え、その活発な会議からひかえめな日本人として学ぶ事が多くありました。「柔道をボツワナに広めたい。」「どうにかして良くしたい。」と思う人がたくさんいるのを知り、様々な問題はあるものの柔道連盟の未来は明るいと確信できた充実した会議でした。



強化合宿

12月8日から2週間、ボツワナ大学にてナショナルチームとの強化合宿を実施しました。選手は、文句を言いながらも1日3回(6:00~7:00/9:00~12:00/15:00~18:00)の稽古に一生懸命取り組んでくれました。時には、涙を流しながら稽古する生徒もいましたが、「試合で勝つ。」「強くなりたい。」と言いながら必死になってついて来てくれました。「先生の練習は、辛いけど頑張る。」「先生は、私たちの為に追い込んでくれるから好きだ。」と言ってくれる選手達に囲まれ、感謝の日々を送っています。寝食を共にして絆が深まった様な気がします。また、「この選手達を勝たせてやりたい」という私の気持ちも強くなった2週間でした。そして、この合宿をもって今年の活動が終わりました。



ナショナルチームの抱える問題

ナショナルチームのヘッドコーチとして活動させていただくからには、選手を少しでも強くし、良い結果を残してほしいと日々思っています。しかし、大きな問題の一つが私たちには、練習場所が無いという事です。

私のナショナルチームとしての最初の活動は、練習場所を確保する事から始まりました。当初は、ボクシング連盟と交渉し、場所を借りる事ができ練習を行っていましたが、ある日突

然追い出されてしまい、暗い廊下やグラウンドで練習した日々もありました。今月は、ボツワナ大学の学生の休暇期間という事で学内のホールを借りて稽古していましたが、大学が始まる新年からはまた私たちは、練習場所を失います。連盟も場所の確保に動いてくれているようですが、なかなか見つかりません。常設の練習場所が一日でも早く見つかる事を祈るばかりです。



2013年12月31日 青年海外協力隊 ボツワナ 柔道隊員 井坪圭佑